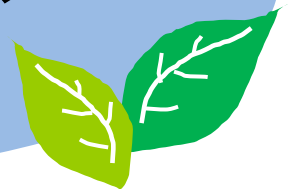


平成 30 年度 八女市社会福祉協議会 事業報告書



第 2 次地域福祉計画・第 2 次地域福祉活動計画 基本理念・基本目標

基本理念

心豊かに、共に支えあい、

安心して健やかに暮らせる、優しいまち 八女

- | | |
|--------|-----------------|
| 基本目標 1 | 相談しやすい雰囲気づくり |
| 基本目標 2 | 連携した支援ができる体制づくり |
| 基本目標 3 | 絆を深め孤立化を防ぐ地域づくり |
| 基本目標 4 | 社会参加の意識づくり |

平成30年度 事業報告書

1 事業の概要

近年、少子高齢化が急速にすすみ、地域における人と人とのつながりが希薄化し、経済的困窮等を背景に、福祉課題が多様化・複雑化している。このような状況の中、これまでの公的な福祉サービスだけで十分な対応をすることが難しい複合的な課題を抱えながらも、制度の狭間で支援を必要としている人たちの存在が、地域の中でも認識されるようになってきている。

その解決のために、地域や制度の課題に向き合いながら、地域の専門職の幅広いネットワークと地域住民同士の「助け合い」による新たな支援の仕組みを構築し、その実践を積み重ねることが重要となっている。

本会では地域福祉を一層推進するため、第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念である「心豊かに、共に支えあい、安心して健やかに暮らせる、優しいまち八女」の実現に努めるとともに、生活支援体制整備事業をはじめ、7月より八女市から委託を受けて実施している「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」を通じて「地域包括ケアシステム」の一翼を担うとともに、制度の狭間で支援に結びついていない人たちを受け止め、小地域に基盤をおいた、支え合える地域づくりをすすめる等、互助や共助の層を厚くする取り組みを広げることができた。

さらに、各種事業を通して、社協と行政の連携・協働による八女市の包括的な相談支援体制づくりに努めるとともに、個別支援を通じた住民主体の地域づくりに努めた。

2 各事業の実績報告

(1) 総務部門

ア 理事会	5回開催	／	5月29日	10月30日	12月18日	2月15日	3月19日
イ 三役会	4回開催	／	5月29日	10月30日	2月15日	3月19日	
ウ 評議員会	4回開催	／	6月12日	11月6日	2月22日	3月28日	
エ 監査	4回実施	／	5月14～15日	7月31日	10月24日	1月30日	
オ 委員会							

(ア) 福祉サービスに関する苦情解決委員会 実施なし

(イ) 評議員選任・解任委員会 5月30日

新規 (ウ) 事務改善委員会 経営プロジェクト会議に代替実施

新規 (エ) 経費削減委員会 //

新規 (オ) 第2次地域福祉活動計画推進委員会 6月15日 2月1日

(カ) 特別養護老人ホームゆいのもり入所検討委員会

5月30日 臨時及び定例第1回会議

10月15日 臨時入所判定会議

11月9日 定例第2回会議

カ 諸規程の整備

キ 人事、給与

(ア) 顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理の実施

ク 予算、決算及び経理

(ア) 顧問税理士の助言による消費税及び法人税納付関連事務

- (イ) 社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務
- ケ 財産の管理及び保全
- コ 職員の研修及び会議

(ア) 全体研修

- 3月8日(金) / 「在宅福祉係・福祉施設係事業報告会」

(イ) 職種別研修

- 総務 1月24日(木) / 主任・係長以上 「ハラスメント実務研修」
- 地域福祉 福祉課会議等の中で随時開催
- 在宅福祉 定例会議を隔月開催

居宅介護支援研修1回 / 通所介護研修2回 / 訪問介護研修2回 /
在宅福祉係・福祉施設係合同研修1回

(ウ) 新任研修

- 県社協主催の研修会へ参加 6人派遣

サ 管理職会議

毎月1回定例にて開催。事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議。特に、上半期は介護保険事業及び福祉施設事業に対する経営プロジェクト会議を設置し、次年度以降の収支をシミュレーションし、今後の事業展開等について協議した。

シ 福祉課会議

毎月1回定例にて開催。事業に関する連絡調整事項等について協議。他にも、社協・行政協働型の地域福祉の在り方等について協議した。

ス 在宅福祉係・福祉施設係合同会議

隔月1回開催。本年度は介護保険事業の収益減少に伴い、各支所の介護保険事業の現状と課題解決のための協議を行った。

(2) 地域福祉活動部門

① 広報啓発活動の充実 (ふれあいのまちづくり事業)

拡充 ア やめ社協だよりの発行(年11回)

(ア) 地域福祉活動や行事の案内、報告及び各種福祉情報を掲載することを目的に4ページから6ページに増やし、発行した。

(イ) 役職員による広報編集会議の開催 11回

- 会議メンバー(6名)

常務理事/理事(1名) / 事務局長/総務課長/福祉課長 / (本所) 地域福祉係長 / (本所) 広報担当者

イ 社協ホームページの活用(ふれあいのまちづくり事業)

社協だよりにについては発行に併せて更新を行う等、ホームページの適切な管理に努め、最新の情報提供を行った。

② 福祉総合相談センター事業

ア 本所・各支所に福祉総合相談センターを設置し、子どもから高齢者、しょうがい者、ひとり親家庭、生活困窮者等の様々な相談対応及び関係機関との連携を強化した。

(件)

相談区分	高齢者	一人親 家庭	児童	しょう がい	生活困 窮	その他	合 計
本所	86	26	41	121	115	154	543
上陽	103	0	2	6	5	7	123
黒木	90	4	0	14	6	45	159
立花	106	5	0	30	9	3	153
矢部	87	0	0	0	1	7	95
星野	54	0	0	7	10	27	98
合 計	526	35	43	178	146	243	1,171
前年度件数	403	4	8	98	141	67	721
比較増減	123	31	35	80	5	176	450

イ 地域包括支援センター、リーベル等関係機関との情報交換及び連携強化による、相談支援体制の充実に努めた。

(ア) 関係機関の研修会等への参加

期 日	内 容
5月25日(金)	リーベルネットワーク全体研修会
6月6日(水)	筑後特別支援学校児童生徒居住地区ネットワーク研修会
8月23日(木)	第3期障害者基本計画第1回作業部会(相談)
9月7日(金)	リーベル第1回就労支援分科会
9月7日(金)	第3期障害者基本計画第1回作業部会(まちづくり)
9月10日(月)	第3期障害者基本計画第2回作業部会(相談)
9月11日(火)	第3期障害者基本計画第1回作業部会(自立支援)
9月25日(火)	第3期障害者基本計画第2回作業部会(自立支援)
9月26日(水)	第3期障害者基本計画第2回作業部会(まちづくり)
9月27日(木)	第3期障害者基本計画第1回作業部会(農福連携)
11月30日(金)	リーベルネットワーク会議
12月10日(月)	第3期障害者基本計画第2回作業部会(農福連携)
12月17日(月)	第3期障害者基本計画第3回作業部会(農福連携)
1月17日(木)	すいれん視察研修(佐賀市)
1月30日(水)	リーベル相談支援分科会
2月21日(木)	第3期障害者基本計画第4回作業部会(農福連携)
2月22日(金)	リーベルネットワーク会議課題解決部会設置準備委員会①
3月5日(火)	リーベル生活支援分科会
3月14日(木)	農福連携説明会・講演会
3月22日(金)	リーベルネットワーク会議課題解決部会設置準備委員会②

(イ) 介護長寿課と地域包括ケアシステム構築に向けた連携

八女市地域包括支援センター主催の小地域・日常生活圏域ケア会議に参加し、関係機関と連携しながら、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討及び地域課題や地域で必要な資源の把握等に努めた。

(ウ) しょうがい者相談支援事業所との連携

八女地区障害者基幹相談支援センターリーベル等の関係機関と連携しながら、しょうがい児者の個別課題の解決に努めた。

(エ) 八女市民生委員児童委員連絡協議会との連携

民生委員児童委員連絡協議会校区定例会への参加及び各種事業の推進を行った。

ウ 西日本新聞「地域見守り隊」と連携し、行政区長及び民生委員児童委員の協力を得ながら、一人暮らし高齢者宅の見守りを強化した。 / 5件

③ 暮らしの相談事業の実施（ふれあいのまちづくり事業）

変更

ア ふれあい福祉センター相談事業（心配ごと相談・無料法律相談・司法書士相談）

心配ごと相談は今年度から、支所エリアにおいては月2回から1回へ変更して実施した。

心配ごと相談終了後に、心配ごと相談員と寄せられた相談内容の確認を行うとともに、ケースによっては、今後の対応等について共有化を図るため、意見交換会を実施した。

○暮らしの相談事業実績

(件)

本所／支所	本 所	立花支所	黒木支所	上陽支所	合計
心配ごと相談	第1・3・5水曜日	第2水曜日	第3水曜日	第4水曜日	
相談件数	10	3	6	4	23
前年度件数	13	4	6	6	29
比較増減	△3	△1	0	△2	△6
法律相談	第2金曜日		第3金曜日	第4金曜日	
相談件数	58		49	33	140
前年度件数	42		35	21	98
比較増減	16		14	12	42
司法書士相談	第3金曜日		第2金曜日		
相談件数	16		4		20
前年度件数	16		7		23
比較増減	0		△3		△3

イ 心配ごと相談員研修会の開催及び各種研修会へ参加（前年度3回実施／比較増減0）

期 日	研修種類	内 容	参加者
6月22日（金）	内部研修	「コミュニケーション術」	15名
11月21日（水）	外部研修	「高齢者の財産管理」	10名
2月25日（月）	内部研修	「最近の相談事例、家族・近隣住民関係トラブルについて」	17名

④ 生活支援体制整備事業の実施（市委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、関係機関及び団体と連携しながら、生活支援体制の整備をすすめた。

拡充 ア 生活支援コーディネーターの配置 8名

(ア) 第1層（市全域）生活支援コーディネーターを1名配置

(イ) 第2層（旧市町村エリア）生活支援コーディネーターを6名から7名へ増員

イ 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起（調査・分析）の実施

(ア) ふれあいサロンに継続的に通い、住民主体の活動状況把握と高齢者の生活ニーズや生きがいについて、昨年度から未実施のサロンにてアセスメントを実施。

エリア	実施箇所数		
本 所	17カ所	上 陽	実施済
黒 木	実施済	立 花	実施済
矢 部	実施済	星 野	実施済

(イ) サロンアセスメント調査に基づき、生活支援の一環として、各関係機関との情報共有を図るために、実際に地域の店舗に出向き、①食に関するサービス（弁当・食料品の配達、移動販売等）②日用品、家電、灯油等の配達 ③衣類に関するサービス（クリーニング等）④理美容院に関する情報収集を行い、地域資源情報を冊子化し、地域包括支援センターと共有化を図った。

(ウ) 生活支援コーディネーターの役割等を市民に認知していただくために、生活支援体制整備事業のパンフレットの作成を行った。

(エ) 第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の各調査結果報告書及び会議を通じて、地域の生活課題を把握した。

○ 八女市地域福祉計画推進委員会・ワーキングチーム課題別会議

期 日	内 容	参加者
6月4日（月）	第1回ワーキングチーム会議	市担当課・社協／40名
6月15日（金）	第1回推進委員会	市担当課・社協／11名
8月30日（木）	第1回地域共生社会の体制検討部会	市担当課・社協／15名
8月31日（金）	第1回地域の交通検討部会	市担当課・社協／17名
10月16日（火）	第2回地域共生社会の体制検討部会	市担当課・社協／14名
11月2日（金）	第2回地域の交通検討部会	市担当課・社協／16名
11月14日（水）	第3回地域共生社会の体制検討部会	市担当課・社協／14名
12月25日（火）	第4回地域共生社会の体制検討部会	市担当課・社協／13名
1月21日（月）	第2回ワーキングチーム会議	市担当課・社協／40名
1月29日（火）	第3回地域の交通検討部会	市担当課・社協／14名
2月1日（金）	第2回推進委員会	市担当課・社協／10名
3月11日（月）	第5回地域共生社会の体制検討部会	市担当課・社協／12名

ウ 地域包括支援センターとの連携

(ア) 小地域ケア会議への参加

(イ) 日常生活圏域ケア会議等への参加

(ウ) 八女市地域包括ケア推進支援会議への参加

(エ) 生活支援コーディネーター連絡会を主催し、地域包括支援センターの参加を求め、

連携強化を図った。

エ 訪問支援（アウトリーチ）による生活課題、支援ニーズの把握

福祉部会・福祉ネットワーク推進委員会等の小地域福祉活動の支援をはじめ、地域に出向くことで、より生活に密着した地域の中で信頼関係づくりを行いながら、必要な支援や働きかけにより問題解決を図ることができた。

新規 オ 矢部村地域をモデルとした買い物支援の展開

住民や事業者・地元商店と連携した生活課題発見の仕組みづくりを行うとともに、ゆいのもり敷地内において、地元商店の協力による食品等の試験的販売を毎週火曜と木曜日に実施した。

試験的販売日数	利用者延べ人数	一日の平均利用者数
94日	1,142人	12名

カ ボランティアセンターとの連携による生活支援シンポジウムの開催

地域の課題や実情を整理し、通年かけて講師の選定及び内容等の調整を行った。

キ 外部研修会への参加

期 日	内 容
4月18日（水）	第6回福岡県生活支援コーディネーター連絡会
5月29日（火）	平成30年度生活支援コーディネーター初任者研修
7月18日（水）	第7回福岡県生活支援コーディネーター連絡会
8月23日（木）	支えあいの地域づくり講座
8月28日（火）	九州・沖縄地区生活支援コーディネーター活動研究大会
9月27日（木）	福岡県生活支援コーディネーターステップアップ研修
10月17日（水）	第8回福岡県生活支援コーディネーター連絡会
10月19日（金）	福岡県地域支援学習会
11月10日（土）～11日（日）	生活困窮者自立支援全国大会
1月16日（水）	第9回福岡県生活支援コーディネーター連絡会
2月11日（月）	新しい総合事業・生活支援体制整備事業フォーラム
3月9日（土）	地域共生社会に向けた九州・沖縄研究大会

⑤ 地域介護予防活動支援事業

ア 介護予防のための市内ふれあいサロン会場への専門指導士の派遣

（ア）健康運動指導士の派遣

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	21	8	21	8	8	10	76件
前年度	25	9	23	11	17	14	99件
比較増減	△4	△1	△2	△3	△9	△4	△23件

(イ) 歯科衛生士の派遣

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	8	2	8	8	6	1	33件
前年度	11	3	7	6	6	2	35件
比較増減	△3	△1	1	2	0	△1	△2件

(ウ) 栄養士の派遣

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	9	5	2	5	4	3	28件
前年度	12	4	1	4	7	2	30件
比較増減	△3	1	1	1	△3	1	△2件

(エ) 認知症予防指導士の派遣

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	9	4	5	5	7	2	32件
前年度	12	3	12	5	10	5	47件
比較増減	△3	1	△7	0	△3	△3	△15件

イ 八女市及び生活支援コーディネーターとの連携による人材育成

拡充

(ア) 地域介護予防サポーター養成講座の開催

昨年度受講されたサポーター37名を6班に編成し、生きがいデイサービスの現場において実習を行い、介護予防活動実践者の育成に努めた。

期 間	会 場	回数	内 容	延参加者
5月15日(火)～ 10月26日(金)	上陽・立花・ 黒木・星野	6回	介護予防に関する運動 実技、血圧測定等	145名

(イ) 介護予防講演会の開催

各支所において、動画配信にて受講できる環境設定を行い、実施した。

期 日	内 容	参加者
3月22日(金)	音楽レクリエーションを活用して楽しく介護予防	64名

(ウ) 地域介護予防サポーターの派遣

期 日	内 容	参加者
1月9日(水)	これからの介護予防サポーター活動について	17名

⑥ 日常生活自立支援事業（八女あんしんサポート事業）の推進

ア 専門員の配置 3名（前年度数3名／比較増減0）、生活支援員43名（前年度数41名／比較増減2）を配置し、県基幹型社協として運営した。

イ 福祉サービスの利用手続きや日常的金銭管理の支援

(ア) 契約の状況 総数 91 名 (前年度契約者数 73 名 / 比較増減 18)

○ 区分別内訳

認知症高齢者

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	14	0	8	4	5	2	33名
前年度	11	0	7	3	4	3	28名
比較増減	3	0	1	1	1	△1	5名

知的しょうがい者

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	16	1	3	2	1	2	25名
前年度	13	1	3	1	1	2	21名
比較増減	3	0	0	1	0	0	4名

精神しょうがい者

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	23	1	8	0	0	1	33名
前年度	15	1	7	0	0	1	24名
比較増減	8	0	1	0	0	0	9名

○ 新規・解約件数

新規

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	23	0	6	2	1	2	34名
前年度	3	0	5	3	4	1	16名
比較増減	20	0	1	△1	△3	1	18名

解約

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
今年度	12	0	2	0	0	2	16名
前年度	5	1	4	5	0	1	16名
比較増減	7	△1	△2	△5	0	1	0名

(イ) 利用契約者への支援回数 (複数)

(件)

支援内容	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
生活費等の受渡し	1,173	35	436	120	132	200	2,096
前年度数	1,079	37	352	40	58	284	1,850
比較増減	94	△2	84	80	74	△84	246
各種支払い	814	31	570	109	58	107	1,689
前年度数	648	46	507	77	31	118	1,427
比較増減	166	△15	63	32	27	△11	262

生活費等を金庫保管	237	1	88	10	31	2	369
前年度数	230	0	18	1	16	4	269
比較増減	7	1	70	9	15	△2	100
相談・調整	53	0	44	2	24	23	146
前年度数	36	0	126	1	9	72	244
比較増減	17	0	△82	1	15	△49	△98
行政・福祉サービスの手続き	38	0	8	2	2	1	51
前年度数	23	0	56	15	0	11	105
比較増減	15	0	△48	△13	2	△10	△54
支援者会議等への出席	0	0	6	0	0	8	14
前年度数	3	0	9	2	1	2	17
比較増減	△3	0	△3	△2	△1	6	△3
事業の問合せ	0	0	0	0	0	0	0
前年度数	0	0	1	0	0	1	2
比較増減	0	0	△1	0	0	△1	△2
成年後見制度の問合わせ	2	0	0	0	4	0	6
前年度数	1	0	1	0	0	1	3
比較増減	1	0	△1	0	4	△1	3
入金(給料等)	266	1	31	0	0	3	301
前年度数	160	2	20	6	1	3	192
比較増減	106	△1	11	△6	△1	0	109
通帳等一時持ち出し	0	0	0	4	30	0	34
前年度数	3	0	1	0	23	1	28
比較増減	△3	0	△1	4	7	△1	6
その他	2	0	21	10	3	1	37
前年度数	7	2	44	1	4	44	102
比較増減	△5	△2	△23	9	△1	△43	△65
合計	2,585	68	1,204	257	284	345	4,743
前年度数	2,190	87	1,135	143	143	541	4,239
比較増減	395	△19	69	114	141	△196	504

ウ 生活支援員養成講座の開催

期 日	内 容	参加者
11月14日(水)	講義「認知症の理解と支援」／事例検討	11名
11月21日(水)	講義「知的しょうがいの理解と支援」／事例検討	11名
11月28日(水)	講義「精神しょうがいの理解と支援」／事例検討	10名
12月5日(水)	講義「生活支援員の活動」／事務説明 (※参加者のうち、生活支援員として2名が登録)	6名

エ 生活支援員研修会及び連絡会の開催

- 上記の生活支援員養成講座と同時開催

⑦ 福祉資金貸付事業

低所得者世帯、高齢者及びしょうがい者世帯等への資金の貸付を行うとともに、借受世帯の自立更生を促進した。

ア 生活福祉資金貸付業務（県社協からの事務委託）

資金種類	貸付額	件数
生活福祉資金（県社協貸付）	3,700,000円	7件
前年度貸付金額	9,196,000円	12件
比較増減	△5,496,000円	△5件

イ 福祉貸付金の貸付業務

資金種類	貸付額	件数
福祉貸付金（しょうがい）	0円	0件
前年度貸付金額	0円	0件
比較増減	0円	0件

ウ 法外援護資金貸付業務

資金種類	貸付額	件数
法外援護資金	425,000円	22件
前年度貸付金額	684,075円	36件
比較増減	△259,075円	△14件

エ 委員会の開催

- (ア) 生活福祉資金調査委員会 / 実施なし
 (イ) 福祉資金貸付委員会 / 実施なし

⑧ 家計相談支援事業（生活困窮者自立支援事業）（前年度利用契約者数2件/比較増減2）

相談者が自ら家計を管理できるよう、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎを行った。 / 利用契約者数 4件

⑨ 小地域福祉活動の推進

ア 小地域福祉活動の推進

(ア) 民生委員児童委員等との連携による福祉活動の推進

福祉部会及び福祉委員の設置等について、民生委員児童委員の協力を得ながら、行政区長との意見交換会を開催し、小地域福祉活動を推進した。

期日	実施校区	内容	参加者
6月18日(月)	三河	福祉委員設置について	19名
6月30日(土)	忠見	福祉委員設置について	16名
7月3日(火)	忠見	福祉委員・見守り連絡員の設置について	8名
7月4日(水)	八幡	福祉委員・見守り連絡員の設置について	8名
7月5日(木)	福島	福祉委員・見守り連絡員の設置について	17名

7月5日(木)	三河	福祉委員・見守り連絡員の設置について	10名
7月6日(金)	長峰	福祉委員・見守り連絡員の設置について	11名
7月10日(火)	岡山	福祉委員について	11名
8月28日(火)	川崎	福祉部会・福祉委員設置について	12名
12月27日(木)	岡山	福祉部会・福祉委員設置について	13名
1月30日(水)	岡山	福祉部会・福祉委員設置について	10名
2月6日(水)	川崎	福祉部会・福祉委員設置について	10名

(イ) 民生委員児童委員連絡協議会及び主任児童委員部会定例会への参加

- 民生委員児童委員連絡協議会校区会長会／毎月第1火曜日
- 民生委員児童委員連絡協議会校区定例会／毎月1回
- 主任児童委員部会定例会／隔月第3金曜日

(ウ) ふれあいいいききサロン等地域の様々な場での情報提供

サロンアセスメント時の調査に加えて、市地域振興課・地域包括支援センター職員と連携し、乗合タクシー等に関する説明及び情報提供を行った。

(エ) 地区福祉のつどいの推進

- 各地区福祉のつどい、福祉大会、福祉まつりへの参加協力 (回)

圏域	まち協設置数	申請数	前年度申請数	比較増減
八女	8	5	5	0
上陽	1	1	1	0
黒木	6	2	2	0
立花	4	2	1	1
矢部	1	0	0	0
星野	1	0	1	△1
合計	21	10	10	0

- つどい内容

期日	開催地区	つどい名
8月4日(土)	北山	第12回踊る!北山夏祭り
10月7日(日)	豊岡	第2回豊岡地区福祉のつどい
10月21日(日)	上陽	上陽地区福祉のつどい
10月28日(日)	川崎	第3回川崎よか祭り
11月10日(土)	八幡	第24回八幡ふれあい広場
11月18日(日)	上妻	第11回上妻まつり
11月18日(日)	忠見	忠見校区芸能大会
11月25日(日)	白木	白木収穫祭
12月8日(土)	笠原	第3回笠原地区福祉のつどい
2月24日(日)	岡山	岡山校区福祉のつどい

イ 住民参加による地域福祉活動の基礎組織や担い手づくり

(ア)「福祉部会（まちづくり団体等）」 (箇所)

圏域	まち協設置数	福祉部会設置数	前年度設置数	比較増減
八女	8	3	0	3
上陽	1	1	1	0
黒木	6	6	6	0
立花	4	2	1	1
矢部	1	0	0	0
星野	1	1	1	0
合計	21	13	9	4

拡充 矢部エリアでは矢部地域づくり協議会の役員会や総会における調整や説明、部会会議への参加を通して「福祉部会」の設置に向けてのアプローチを行った。

(イ)「福祉ネットワーク推進委員会」 (箇所)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	1	0	1
上陽	3	2	1
黒木	39	39	0
立花	12	9	3
矢部	0	0	0
星野	2	0	2
合計	57	50	7

(ウ)「福祉委員（行政区等）」 (人)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	3	1	2
上陽	31	31	0
黒木	92	92	0
立花	55	41	14
矢部	0	0	0
星野	17	0	17
合計	198	165	33

○ 福祉委員研修会の開催（前年度2地区実施／比較増減1）

期日	地区	内 容	参加者
5月22日（火）	黒木	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講義／「福祉委員の役割等について」 ○ 説明／社協黒木支所 ○ 実践報告／「豊岡・木屋地区の福祉委員活動報告」 	福祉委員 79名 民生委員児童委員 32名

6月7日(木)	星野	○ 講義／ 「これからの地域福祉活動の 在り方」 ○ 講師／九州大谷短大福祉学科 中村秀一教授 ○ 懇談会／ 行政区長・民生委員児童委員・ 福祉委員三者懇談会	福祉委員 15名 民生委員児童委員 15名 行政区長 7名
7月5日(木)	上陽	○ 講義／ 「福祉委員の役割等について」 ○ 講師／九州大谷短大福祉学科 中村秀一教授	福祉委員 27名 民生委員児童委員 8名 行政区長・自治会長 8名 福祉会 9名

(エ) 「見守り連絡員 (隣近所等)」

(人)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	64	0	64
上陽	139	133	6
黒木	267	253	14
立花	127	139	△12
矢部	9	0	9
星野	0	0	0
合計	606	525	81

新規 ウ 地域懇談会の開催

第2次地域福祉活動計画策定報告及び地域課題把握

期 日	実施校区	内 容	参加者数
4月16日(月)	団体	八女市ふれあいサロン支援者の会「サロンティア」	20名
4月21日(土)	笠原	夢かさはら自治運営協議会総会時報告	35名
4月25日(水)	矢部	矢部地域づくり協議会	60名
5月1日(火)	市全域	八女市民児協月例校区会長会	15名
	八幡	八幡校区民児協定例会	8名
	忠見	忠見校区民児協定例会	8名
5月2日(水)	上妻	上妻校区民児協定例会	13名
5月9日(水)	黒木	黒木校区民児協定例会	36名
5月10日(木)	福島	福島校区民児協定例会	17名
	川崎	川崎校区民児協定例会	8名
	岡山	岡山校区民児協定例会	14名
5月11日(金)	長峰	長峰校区民児協定例会	11名
5月15日(火)	黒木	黒木地区自治運営協議会総会時報告	35名
5月17日(木)	上陽	上陽校区民児協定例会	17名
	立花	立花校区民児協定例会	30名

	矢部	矢部校区民児協定例会	19名
	星野	星野校区民児協定例会	17名
5月25日(金)	串毛	串毛地区福祉部会	20名
6月7日(木)	星野	福祉委員委嘱状交付式及び地域福祉研修会	40名
6月18日(月)	三河	三河校区行政区長、民生委員児童委員意見交換会	19名
6月26日(火)	豊岡	豊岡地区福祉部会	31名
6月30日(土)	忠見	忠見校区行政区長、民生委員児童委員意見交換会	16名
7月24日(火)	木屋	木屋地区福祉部会	39名
7月24日(火)	八幡	犬馬場行政区福祉懇談会	27名
7月26日(木)	八幡	宮島行政区福祉懇談会	25名
8月28日(火)	川崎	川崎校区行政区長、民生委員児童委員意見交換会	12名
9月12日(水)	笠原	笠原地区福祉部会	11名
10月11日(木)	上妻	上妻校区行政区長、民生委員児童委員意見交換会	23名
10月24日(水)	八幡	泉島行政区福祉懇談会	27名
11月6日(火)	八幡	上新庄行政区福祉懇談会	30名
11月7日(水)	八幡	南国武行政区福祉懇談会	28名
11月12日(月)	八幡	平行政区福祉懇談会	51名
11月14日(水)	八幡	西田行政区福祉懇談会	26名
12月4日(火)	星野	上郷村役員会	12名
12月12日(水)	星野	福祉委員研修会時	17名
12月27日(木)	岡山	岡山校区行政区長会	11名
1月16日(水)	上陽	上陽校区行政区長会	17名

エ 要援護者等の個人情報に配慮しながら進める見守り活動等への支援

民生委員児童委員連絡協議会校区会長会及び定例会をはじめ、福祉部会や福祉ネットワーク推進委員会等の地域の集まりの中で、情報の共有やその範囲等を確認しながら、日常的な地域福祉活動を支援した。

オ 他市町の小地域福祉活動研修の視察受け入れ(前年度2/比較増減 △1)

期日/会場	団体名	内容	参加者
4月14日(土)／ 黒木支所	九州大谷短期大学 「福祉学科学外研修」	八女市社協黒木支所の地域福祉について	33名

⑩ 社協会費(会員)・寄附金・共同募金を活用した地域福祉活動の支援

ア 社協会費

種類	今年度		前年度		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
住民会費	19,192件	3,845,400円	19,650件	3,930,000円	△458件	△84,600円
特別会費	14件	44,000円	1件	6,000円	13件	38,000円
合計	19,206件	3,889,400円	19,651件	3,936,000円	△445件	△46,600円

イ 寄附金

種 類	今年度		前年度		増 減	
香典返し寄附	398 件	13,073,510 円	406 件	13,190,000 円	△8 件	△116,490 円
一般寄附	11 件	1,384,001 円	11 件	5,127,182 円	0 件	△3,743,181 円
合 計	409 件	14,457,511 円	417 件	18,317,182 円	△8 件	△3,859,671 円

ウ 赤い羽根共同募金

配分事業名	配分件数	配分金額
高齢者福祉活動事業	6 件	1,415,000 円
障害者福祉活動事業	7 件	1,816,000 円
児童・青少年福祉活動事業	7 件	1,894,000 円
住民福祉活動事業	29 件	5,058,300 円
合 計	49 件	10,183,300 円

⑪ 住民参加による地域福祉事業の推進（ふれあいのまちづくり事業）

ア ふれあいいきいきサロン活動の支援

（ア）ふれあいいきいきサロン支援者養成講座の開催

期 間	会場	回数	参加者	内 容
8/6～9/27	八女	4	110 名	①レクリエーション指導法講座 ②仲間と楽しむボールゲーム講座 ③季節を彩るクリスマス用折り紙講座 ④初心者向けコミュニケーション麻雀講座
8/8～9/26	上陽	4	26 名	
8/9～9/27	星野	4	64 名	
8/8～9/26	立花	4	43 名	
8/7～9/25	矢部	4	39 名	
8/7～9/25	黒木	4	64 名	
合 計		24 回	346 名	
前年度		24 回	387 名	
比較増減		0	△41 名	

（イ）ふれあいいきいきサロン運営費の助成及び立ち上げの支援

（箇所）

圏域	行政区数	設置数	前年度設置数	比較増減	H30 新規
八女	87	41	43	△2	0
上陽	10	13	11	2	3
黒木	50	52	51	1	1
立花	25	21	22	△1	1
矢部	6	14	16	△2	0
星野	8	9	9	0	0
合計	186	150	152	△2	5

(ウ) 各地区ふれあいいいきサロン連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者
3月13日(水)	矢部	28名
3月4日(月)～3月14日(木)	八女(8校区にて実施)	62名
3月8日(金)	星野	11名
3月13日(水)	黒木	36名
3月18日(月)	上陽	14名
3月20日(水)	立花	23名

(エ) 生活支援コーディネーターとの連携による地域課題及び支援ニーズ等の把握の発掘
生活支援コーディネーターとの連携により実施したサロンアセスメントに基づき、
新たに上がった「サロンへ来ない人」に対する課題に対して、個別課題と地域課題
の双方から地域支援体制をつくっていくことを確認した。

(オ) 視察研修の受け入れ

受入日	受入団体	受入数
9月21日(金)	大木町社会福祉協議会(おおき健康隊)	25名
1月11日(金)	佐賀県基山市カトレアシスターズ(ふれあいサロ ンボランティアグループ)	24名

⑫ 住民参加による移動・外出支援の周知と推進

拡充 ア 福祉有償運送事業の実施

運転ボランティアの確保及び育成

(ア) 支援者数(ボランティア)

- 黒木支所 7名(前年度数11名/比較増減△4)
- 矢部支所 7名(前年度数4名/比較増減3)

(イ) 利用登録者数

- 黒木支所 56名(前年度数48名/比較増減8)
- 矢部支所 38名(前年度数38名/比較増減0)

事業名	実施圏域	年度別	実施日数	延利用者数
福祉有償運送	黒木支所	本年度	268日	629名
		前年度	278日	735名
		比較増減	△10日	△106名
	矢部支所	本年度	139日	178名
		前年度	112日	136名
		比較増減	27日	42名

(ウ) 地域福祉型福祉サービスに対する支援

特定非営利活動法人上陽ライフネットワークが行う福祉有償運送事業の協力支援を
行った。

(エ) 福祉有償運送運転者講習会の実施

- 開催日 4月18日(水)
- 会場 黒木地域交流センター「ふじの里」
- 受講者の内訳

区分	受講者の所属	受講者数
福祉有償運送	黒木支所運転ボランティア	4名
	黒木支所職員	3名
	矢部支所運転ボランティア	3名
	NPO上陽ライフネットワーク	6名
外出支援サービス	立花支所職員	2名
	星野支所職員	1名
合計		19名

イ 公共交通機関や乗り合いタクシー等の情報提供

サロンアセスメント時の調査に加えて、市地域振興課・地域包括支援センター職員と連携し、乗合タクシー等に関する説明及び情報提供を行った。

⑬ 生活困窮者に対する相談支援事業

新規 ア 福祉生活支援室(ほっと館やめ)の設置

4月より生活困窮者支援事業等の拠点施設の設置として、支援員2名を配置し、支援室内にフードバンクとフリースペースを確保し、生活困窮者やひきこもり等の相談支援を行った。

(ア) 来所者・訪問者数 (人)

種類	来所	訪問	合計
不登校	90	0	90
ひきこもり	178	0	178
しょうがい	182	1	183
高齢者	9	0	9
児童	37	0	37
相談機関	301	0	301
一般	319	5	324
合計	1,116	6	1,122

(イ) 相談件数・相談経路 (件)

種類	来所	訪問	合計
本人	81	2	83
家族	30	0	30
関係機関	206	4	210
住民	8	1	9
その他	10	0	10
合計	335	7	342

(ウ) 相談内容

(件)

種類	来所	訪問	合計	
介護	5	0	5	
しょうがい	30	1	31	
ひきこもり(一般)	43	0	43	
子育て	不登校	26	1	27
	ひきこもり(高校まで)	35	0	35
	その他	45	0	45
経済困窮	フードバンク	75	5	80
	家計相談	8	1	9
	生活費(資金貸付)	3	0	3
	就労	18	0	18
	その他	8	0	8
その他	38	0	38	
相談対応(終結件数)	334 (155)	8 (2)	342 (157)	

(エ) 行事

- 八女作業所との連携による、ひきこもり・精神しょうがい者等への生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、ガーベラのラッピング及び販売協力支援を行った。(※8月から毎週火曜日実施)
- ひきこもり者への生活(家事)支援として、フードバンクの食品を活用した料理教室を実施。(※9月から毎月第4木曜日実施)

拡充 イ フードバンク事業の実施

市民への食品募集等、市民ベースのフードバンク事業の展開及び提供いただいたお菓子等の食品をこども食堂へ提供する等、支援の拡充に努めた。他にも、県内初の試みとしてエフコープ生協との連携により、生協会員を対象にしたフードドライブを実施する等、フードバンク事業の充実に努めた。

市民ベースのフードバンク事業の展開により、教育関係機関及び市担当課との連携強化につながり、制度の狭間にある人たちの相談支援を強化することができた。

(ア) 食品受取

(件)

種類	来所	訪問	合計
企業	9	14	23
団体	2	2	4
個人	25	1	26
合計	36	17	53

(イ) 食品提供

(件)

種類	来所	訪問	合計
個人世帯	86	5	91
子ども食堂	26	0	26
合計	112	5	117

(ウ) 子ども食堂への支援

名 称	支援内容
チャイルドサポートネットワーク	福岡八女農業協同組合や市民、八女市内の企業より提供いただいた米や食材等を各子ども食堂へ配布
子ども食堂たちばな	
子ども食堂かたらんね	

(エ) 食品寄贈に係る協力団体及び覚書取り交し団体・内容 (※掲載許可団体のみ)

団体名	内容
エフコープ生協	フードドライブによる食品寄贈
ローソン	棚卸残商品の寄贈
一般社団法人日本非常食推進機構	災害対策用備蓄物資の有効活用の協力に関する覚書締結
株式会社セブンイレブン・ジャパン	店舗閉店時の残商品の寄贈
NPO法人フードバンク福岡	フードバンク福岡所有の食品の譲渡

(オ) 生活困難者支援に係る外部会議への参加

期 日	団体名	内 容
6月25日(月)	エフコープ2030プロジェクト会議①	福祉事業戦略2030の実現に向けて、八女市社協から要望及び提言を行った。
11月15日(木)	エフコープ2030プロジェクト会議②	
1月24日(木)	エフコープ2030プロジェクト会議③	
3月7日(木)	エフコープ2030プロジェクト会議④	

拡充 ウ 学習支援活動の支援

子ども食堂が実施している学習支援活動に対し、八女市内の高校生等学習支援ボランティアのコーディネート機能を発揮した。

拡充 エ 不登校・ひきこもりに関する相談支援

(ア) 精神対話士等の支援者、傾聴ボランティア及び医療機関との連携による個別支援と居場所づくりの確保による社会参加の促進に努めた。

(イ) 9月から不登校・ひきこもり親の会「笑福(えふ)の会」の定例会時に精神対話士2名による相談支援実施。(※毎月第2土曜日:15時~17時) / 延べ20件

拡充 オ 教育関係機関及び相談支援機関との連携

八女市適応指導教室「あしたば」と連携し、「あしたば」に行くことができない生徒のフリースペースへの受入や「あしたば」が実施する社会参加の行事に協力し、相談支援体制を強化した。

拡充 カ 社会福祉法人連絡会との連携による地域貢献事業の推進

八女市内25の社会福祉法人による情報交換及び共有を図る場として、連絡会議を設置し、法人連携による地域福祉向上のための取り組み等について協議し、新たに遺品整理やゴミ屋敷の清掃活動を行った。

期 日	会議及び事業	内 容
4月18日(水)	役員会・連絡会	平成30年度の事業計画について
5月16日(水)	施設見学会・交流会	社会福祉法人専勝会 あゆみ保育園
7月18日(水)	施設見学会・交流会 役員会	社会福祉法人上横山福祉会 蓮の実団地・蓮の実園

7月23日(月)	協働事業	遺品整理
9月19日(水)	施設見学会・交流会	社会福祉法人星野村福祉会 特別養護老人ホーム星寿園
10月17日(水)	役員会	施設見学会及び今後の活動等について
1月16日(水)	役員会	地域貢献事業等について
1月24日(木)	施設見学会	社会福祉法人伍福会 ふるさと
2月27日(水)	協働事業	ゴミ屋敷清掃
3月25日(月)	協働事業	ゴミ屋敷清掃

拡充 キ ふくおかライフレスキュー事業への参加及び支援サポーターの配置

(ア) 支援サポーターの配置

制度対応できない課題に対応するため、社会福祉法人の専門性を活かし、生活困窮者等に対する相談や支援事業を行う「ふくおかライフレスキュー事業」の主たる担い手であるサポーター3名を配置。

(イ) 支援サポーター連絡会の開催

八女市管内において登録しているふくおかライフレスキューサポーター会議を開催し、今後の取り組み等について協議した。

期 日	内 容	参加者
6月19日(火)	今後の取り組み等について	7法人/15名

ク 法人後見支援事業及び市民後見人の検討

認知症高齢者等の財産管理及び身上監護等をすすめ、八女市における権利擁護システムの基盤を整備していくために、第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、事業実施に向けて先進地視察及び職員研修会を実施し、法人後見事業の導入に向けた調査・研究を行った。

期 日	視察先	参加者
8月8日(水)	社会福祉法人嘉麻市社会福祉協議会	事務局4名
9月21日(金)	社会福祉法人山鹿市社会福祉協議会	事務局4名
1月15日(火)	法人後見事業に係る職員研修会①	16名
1月22日(火)	法人後見事業に係る職員研修会②	16名
1月25日(金)	法人後見事業に係る職員研修会③	12名
1月29日(火)	法人後見事業に係る職員研修会④	15名
2月5日(火)	法人後見事業に係る職員研修会⑤	16名

⑭ 災害ボランティアセンターの基盤整備

ア 災害時相互協力協定団体との連携及び連絡会の開催

災害時に災害ボランティア活動等の被災者支援活動を協力して行うために、「八女ライオンズクラブ」「黒木ライオンズクラブ」「八女青年会議所」「特定非営利活動法人がんばりよるよ星野村」「特定非営利活動法人山村塾」と災害時相互協力協定に基づき、災害時の協力体制等について協議した。

イ 災害時相互協力協定団体との連携による八女地区総合防災訓練への参画

平成30年度は実施されなかったため、参加していない。

ウ 福岡県社会福祉協議会や近隣社会福祉協議会との連携

平成30年7月豪雨災害により被災した久留米市に対して、福岡県社会福祉協議会と連携し、久留米市社協災害ボランティアセンター本部（長門石）とサテライト（北野町）の運営支援のため、本会職員を派遣した。

期 日	派遣先	延日数	延人員	主な活動内容
7月11日（水）～14日（土）	本部	4日	8人	受付、ニーズ調査、 マッチング、資材貸 出、送迎
7月14日（土）～17日（火）	サテライト	4日	12人	
合 計		8日	20人	

エ 災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直し

本会の機構改革による課制の導入にともない、平成28年3月に改訂した本会「災害時対応の手引き」の職員参集基準及び配備連絡網等について見直し、災害時への体制、対応について改めて確認した。

期 日	内 容	参加者
6月13日（水）	職員の参集基準等について	係長、管理職25名

オ 災害ボランティアセンター視察研修の受け入れ

受入日	受入団体	受入数
9月18日（火）	立花口区福社会（新宮町）	25名

カ 災害ボランティアに関わる講座への職員派遣

派遣日	内 容	場 所
6月10日（日）	「防災講座～備えあれば憂いなし」	九州芸文館

⑮ 福祉教育活動の推進（ふれあいのまちづくり事業）

ア 暮らしと福祉の講座の開催

次年度から開催するにあたり、地域の課題や実情を整理し、通年かけて講師の選定及び内容等の調整を行った。

イ 福祉教育教材「ともに生きる」の活用促進（前年度配布数533冊／比較増減7）

市内の小学校3年生を対象とし、540冊を配布した。

ウ 福祉体験学習・講座の支援（小・中・高等学校等）

（ア）福祉体験学習・講座への協力（全18）（前年度11件/比較増減7）

期 日	学校名	内 容
6月8日（金）	輝翔館中等教育 学校2年生	介護疑似体験（車イス、高齢者疑似体験） 124名
6月20日（水）	福島小学校	介護疑似体験（車イス）
6月26日（火）	福島小学校	視覚・聴覚しょうがい者との交流
7月25日（水）	観光ボランティア の会（めぐり愛）	介護疑似体験（車イス）
9月11日（火）	上陽北浜学園	子ども民生委員受け入れ 高齢者との交流
10月11日（木）	立花小学校	聴覚しょうがい者との交流
10月12日（金）	立花小学校	肢体不自由・視覚しょうがい者との交流
10月25日（木）	立花小学校	介護疑似体験（車イス）
10月26日（金）	立花小学校	聴覚しょうがい者との交流

10月31日(水)	立花小学校	肢体不自由・視覚しょうがい者との交流
11月6日(火)	三河小学校	介護疑似体験(車イス)
11月8日(木)	上妻小学校	介護疑似体験(車イス)
11月16日(金)	三河小学校	視覚しょうがい者との交流
11月30日(金)	三河小学校	聴覚しょうがい者との交流
12月18日(火)	上陽北浜学園	介護疑似体験(車イス)
2月19日(火)	黒木小学校	介護疑似体験(車イス)
2月21日(木)	黒木小学校	視覚しょうがい者との交流
2月26日(火)	黒木小学校	聴覚しょうがい者との交流

(イ) 出前福祉講座マニュアルの作成

学校及びゲストティーチャー、社協の三者において、福祉教育の主旨及び申込手順の共有化を図ることを目的に出前福祉講座マニュアルを作成した。

⑩ 介護人材の発掘及び育成

ア 介護人材バンク事業

(ア) 登録者数 154名(前年度登録者数107名/比較増減47)

(イ) 各種研修会の開催

○ 介護職員初任者研修講座の開催(通信制)

実施日	内 容	受講者	合格者
夜・土曜日のコース (9/29～11/24)/20日間 (夜間11日、土曜9日)	介護に必要な知識・技術の習得	12名	12名
昼のコース (10/5～11/28)/14日間		12名	11名
前年度数		24名	24名
比較増減		0名	△1名

○ 同行援護従業者養成研修講座の開催

実施日	内 容	受講者	合格者
11月3日(土)	視覚しょうがい者の外出支援・介護	16名	15名
11月10日(土)			
11月17日(土)			
前年度数		16名	16名
比較増減	0名	△1名	

○ ガイドヘルパー養成講座の開催

実施日	内 容	受講者	合格者
11月24日(土)	全身性しょうがい者の外出支援・介護	16名	15名
11月25日(日)			
前年度数		30名	30名
比較増減		△14名	△15名

(ウ) 福岡県福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）との連携

福岡県福祉人材センター筑後地区福祉人材センターについての紹介を行った。

福岡県福祉人材センター筑後地区福祉人材バンクの相談員が、介護職員初任者研修講座受講生に福祉人材バンクの事業について説明を行った。

(エ) 登録者への情報提供

各種研修会をはじめ、介護関係の情報提供を行った。

⑰ 当事者団体の組織化と活動の活性化

ア 在宅介護者の会活動への協力（ふれあいのまちづくり事業）

在宅介護者の会が実施する介護者のつどいやリフレッシュ事業等の支援をはじめ、介護問題や認知症問題を地域の課題として考えていく場づくりとして、講座を共催で開催した。

(ア) 家族の介護について考える講座の開催（全5回）（前年度5回実施/比較増減0）

期 日	内 容	参加者
6月20日(水)	「よりよい介護を続けるために～認知症をしよう」	39名
7月12日(木)	「自宅でできる！応急手当の知識と技術」	16名
9月6日(木)	「在宅介護者のための楽しい手軽な健康ストレッチ」	14名
10月11日(木)	「おむつの上手な選び方・使い方について」	25名
11月7日(水)	「実践！在宅介護者のためのアロマの癒しの時間」	22名

イ 不登校・ひきこもり親（家族）の会活動への協力

不登校・ひきこもり親の会が実施するつどいの支援をはじめ、電話や来所等による、不登校やひきこもりに関する相談に応じ、精神対話士や適切な支援機関へつなぐ等、ひきこもり支援を推進した。

⑱ 各福祉事業（団体）の活動支援

ア 高齢者福祉事業の推進

(ア) 老人クラブ活動への協力支援

(イ) ひとり暮らし高齢者の会（つどい）活動への協力支援

イ しょうがい者福祉事業の推進

(ア) 身体障害者福祉協会への協力支援

福岡県身体障がい者体育大会及び親善グラウンドゴルフ大会・役員会等の運営に対する協力支援を行った。

(イ) 福祉作業所への協力支援

(ウ) 視覚障害者福祉協会活動への協力支援

(エ) 聴覚しょうがい者協会への協力支援

(オ) 精神障害者家族会への協力支援

(カ) 当事者団体等への協力支援

しょうがい者支援テァリティー福祉バザー実行委員会に職員3名を選出し、協力を行った。

ウ 母子寡婦福祉事業の推進

(ア) 母子寡婦福祉会活動への協力支援

(イ) 母子・父子ふれあい事業への協力支援

エ 青少年健全育成事業や児童福祉活動への協力

- (ア) 子ども会事業への協力支援
- (イ) 青少年健全育成事業への協力

オ その他の福祉活動への協力支援

- (ア) 保護司会への活動支援
- (イ) 遺族連合会活動への協力

⑱ 八女市合同金婚式事業の実施

結婚50周年を迎えられた八女市内に居住の方を対象に、市全域で第3回合同金婚式を実施した。

期 日	会 場	参加組	前年度
11月22日(木)	メモリアルホールいわ井	76組	64組

⑳ 世代間交流事業の実施

ア 福祉サービス利用者と地域住民、保育園児及び小学校児童による世代間交流事業を実施した。

期 日	内 容	参加者
6月7日(木)	「ふれあい田んぼ」／田植え	38名
10月11日(木)	「ふれあい田んぼ」／稲刈り	51名

㉑ ボランティアセンター活動推進事業

ア 広報啓発活動の充実

やめ社協だよりの中で、ボランティアセンターに関する内容を掲載した。

イ ボランティアセンターの運営強化

専従ボランティアコーディネーターの配置 1名

ウ ボランティアの育成

- (ア) 点訳活動推進の支援
- (イ) 手話活動推進の支援
- (ウ) 要約筆記ボランティア活動への支援
- (エ) 音訳ボランティア活動への支援
- (オ) 給食サービス等在宅福祉活動の支援
- (カ) 八女市ふれあいサロン支援者の会への支援
- (キ) ふれあいいいききサロン地域支援団体への支援
- (ク) 生きがいデイサービスボランティア活動への支援
- (ケ) 傾聴ボランティア活動への支援
- (コ) ボランティア連絡協議会活動への支援

エ ボランティア登録の推進とボランティア保険の加入促進

社協ボランティアセンターの登録者に対して、ボランティア活動保険の加入促進と助成を行った。

(ア) ボランティア登録者数

区分	個人	団体	総数
八女	5	28	289名
上陽	2	2	39名
黒木	2	7	95名
立花	3	0	3名
矢部	0	1	15名
星野	0	2	64名
市外	3	0	3名
合計	15名	40団体	508名

オ ボランティアコーディネーター機能の強化

(ア) ボランティア活動についての相談、斡旋

- ボランティアの派遣調整件数 201 件（前年度件数 158 件／比較増減 43）
ふれあいサロンへのボランティア派遣を中心とした需給調整をはじめ、ボランティア活動を希望する人等への対応を随時実施した。

(イ) 福祉活動に関するボランティア活動団体の登録整備

現在活動している団体の紹介をはじめ、登録の見える化を行うため、ボランティアセンターに登録している団体の冊子化を行い、ホームページに掲載した。

カ 各種ボランティア講座等の開催

(ア) ボランティア入門講座の開催

各種の講座の中で入門的要素の内容を構成し実施。

(イ) 傾聴ボランティア養成講座の開催

期 日	内 容	参加者
10月26日(金)	「きき方の違い」 傾聴の意義と重要性、日常会話と傾聴の違いについて	17名
11月2日(金)	「傾聴する人の心がまえ」 ルール、受容的な聴き方、うなずきの効用について	15名
11月5日(月)～ 8日(木) 1日間	「実践的活動」 学んだことを実践	13名
11月9日(金)	「聴き上手の極意」 共感的な聴き方、沈黙、寡黙の聴き方、質問の役割について	16名

キ 生活支援コーディネーターとの連携による生活支援ボランティアの育成

(ア) 生活支援ボランティア活動の推進

サロンアセスメント及び八女市地域福祉計画ワーキングチーム課題別会議等で出された生活課題に対して、生活支援ボランティアの必要性と住民参加による地域支援体制をつくっていくことを確認した。

(イ) 外出支援ボランティアの確保

福祉有償運送事業の運転ボランティアを確保し、移動困難者への支援体制づくりをすすめた。

(ウ) 住民参加型在宅福祉サービスの検討

八女市地域福祉計画ワーキングチーム課題別会議等での協議をふまえて、次年度以降に会員制の互助組織化も視野に入れ、市担当課を交えて検討することを確認した。

新規 ② 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業（市委託事業）

この事業は住民が身近な地域で主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり（我が事）と世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくり（丸ごと）を支援し、推進することを目的とする国のモデル事業である。

八女市においては第2次八女市地域福祉計画・地域福祉活動計画に則り、7月より市から委託を受けて地域を基盤とした小地域福祉活動の中で抽出される生活課題や個別課題を解決する体制づくりに努めた。

ア 地域力強化推進事業

生活圏域において、地域住民が主体的に地域生活課題を把握し解決することができる環境を整備した。

(ア) 小地域福祉活動を推進するコミュニティソーシャルワーカー及び生活支援コーディネーターと機能的に連携し、制度の狭間を埋める仕組みづくり拠点（福祉生活支援室）の整備を行った。

(イ) 生活困難者支援連携会議の開催（月2回）

毎月第1・第3月曜日に福祉生活支援室相談員及びコミュニティソーシャルワーカー及び生活支援コーディネーターによる定例会議を行い、個別課題から地域課題の把握に努め、制度の狭間におかれている人の支援等について協議した。

イ 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

複合的な課題を抱える個別課題に対して、分野を超えた、専門性、利便性の高い相談支援機能を発揮するため、日常生活圏域（旧市町村）に1名ずつ、包括的な相談支援体制を構築する人材を配置した。

(ア) 相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）の配置 6名

(イ) 相談支援包括化推進員会議の実施／毎月第3木曜日

(ウ) 各分野相談支援に係るコーディネーター（調整機関）連絡会の開催

期 日	内 容	参加者
10月29日(月)	<ul style="list-style-type: none">○ 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制整備事業及び第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画との関連について○ 各分野相談支援に係るコーディネーター（調整機関）連絡会の必要性について○ それぞれの支援活動の中で感じている・抱えている課題について（グループワーク）	27名
1月21日(月)	<ul style="list-style-type: none">○ 相談支援包括化推進員の役割について○ 各相談機関の支援活動の中での「狭間の課題」について（グループワーク）	25名

(エ) 相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）先進地視察の実施

期 日	内 容
1月24日（木）	地域共生社会づくり事業先進地視察（東京都江戸川区社協）
1月31日（木）	ひきこもりサポート支援事業先進地視察（佐賀県佐賀市NPO法人）
2月15日（金）	地域共生社会づくり事業先進地視察（東京都世田谷区社協）

(オ) 相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）・コミュニティソーシャルワーカー（小地域福祉活動担当）合同会議の開催

期 日	内 容
2月21日（木）	西南学院大学萩沢友一准教授を交えてこれからの八女市における地域共生社会づくり事業の展望及び社協活動等について協議。

(3) その他の事務事業部門

① 福岡県共同募金会八女市支会の運営

ア 八女市支会理事会年2回・配分委員会年2回の開催

- (ア) 第1回理事会 6月25日（月）開催
- (イ) 第1回配分委員会 6月18日（月）開催
- (ウ) 第2回理事会 2月22日（金）開催
- (エ) 第2回配分委員会 2月14日（木）開催

イ 赤い羽根共同募金運動の実施

(ア) 赤い羽根共同募金実績

戸別募金、街頭募金、資材募金、法人募金、イベント募金、自動販売機による募金をはじめ、福岡県共同募金会からのモデル指定事業を実施し、共同募金運動の啓発と推進に努めた。

募金の種類	実績件数	実績額
戸別募金	17,269件	8,535,250円
街頭募金	5件	111,434円
資材募金	1,658件	1,107,344円
法人募金	508件	1,987,178円
イベント募金	9件	92,326円
自動販売機募金	12件	471,174円
その他(募金箱、個人募金等)	57件	205,616円
合 計	19,518件	12,510,322円

(イ) 歳末たすけあい募金実績

募金の種類	実績件数	実績額
戸別募金	17,967件	1,779,380円
街頭募金	2件	68,779円
その他(団体募金、個人募金等)	2件	32,584円
合 計	17,971件	1,880,743円

- (ウ) 平成 30 年度共同募金会市区町村モデル指定事業として、八女市内の小中高校生、障害者支援施設に標語及びイラストを募集し、1,045 点の応募があった。

期 日	内 容
6 月 29 日(金)	校長会にて事業の説明と依頼を行った。
7 月 13 日(金)	法人連絡会にて障害者支援施設へ依頼
8 月 31 日(金)	1 次審査
9 月 4 日(火)	2 次審査
9 月 5 日(水)	本審査

- (エ) 標語、イラスト最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を決定。受賞作品は、八女市独自のクリアファイルや蛍光ペン、ポケットティッシュ用チラシ、ポスターに活用。各受賞者へは、支会長より八女市内の小中学校 4 校、障害者 1 施設にて表彰式を実施した。

ウ 八女市支会の運営事務

- (ア) 各行政区へ依頼（行政区長及び隣組長へ募金協力依頼・ポスター掲示依頼）
 (イ) 八女市民生委員児童委員連絡協議会にて、各地区の法人に対し法人（事業所）募金の協力文書配布の依頼を行った。

② 日本赤十字社八女市地区の運営

ア 八女市地区の会費（会員）募集活動

種 類	今年度		前年度		増 減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
日赤会費	12,719 件	6,530,713 円	13,077 件	6,630,300 円	△358 件	△99,587 円
個人寄附	11 件	44,681 円	1 件	2,000 円	10 件	42,681 円
合 計	12,730 件	6,575,394 円	13,078 件	6,632,300 円	△348 件	△56,906 円

イ 八女市地区の運営事務

- (ア) 各行政区へ依頼（行政区長及び隣組長へ会費協力依頼）
 (イ) 門標の配布（会費 1,000 円以上で希望する方のみ） / 92 件

③ 八女市献血推進協議会

ア 八女市献血推進協議会の開催

- (ア) 期 日 / 5 月 28 日（月）
 (イ) 委員出席者 / 11 人
 (ウ) 内 容 / 献血事業の事業報告及び会計決算報告、事業計画、予算について協議。

イ 献血（地域献血・職域献血・学域献血）の実施

(ア) 地域献血

月 日	地 区	場 所	今年度実績			不採血者数
			回数	受付数	献血者数	
7 月 25 日	黒木	ふじの里	1 回	89 人	76 人	13 人
8 月 10 日	福島	おりなす八女	1 回	116 人	102 人	14 人
8 月 17 日	星野	そよかぜ	1 回	27 人	24 人	3 人
8 月 24 日	立花	立花市民センター	1 回	64 人	57 人	7 人

9月5日	矢部	矢部公民館	1回	31人	28人	3人
9月14日	上陽	農業活性化センター	1回	35人	28人	7人
9月25日	八幡	西公民館	0.5回	9人	9人	0人
9月26日	川崎	東公民館	0.5回	12人	10人	2人
10月5日	長峰	マンガ倉庫	1回	47人	40人	7人
10月19日	忠見	株式会社熊谷光玉園	1回	36人	34人	2人
10月24日	岡山	室岡公民館	1回	44人	39人	5人
11月1日	三河	三河小学校	1回	14人	13人	1人
11月16日	上妻	八女市総合体育館	1回	35人	32人	3人
11月16日	黒木	ふじの里	1回	85人	76人	9人
12月14日	福島	おりなす八女	1回	106人	105人	1人
2月27日	岡山	室岡公民館	1回	48人	47人	1人
3月8日	忠見	株式会社熊谷光玉園	1回	43人	41人	2人
3月13日	黒木	ふじの里	1回	98人	91人	7人
3月14日	上陽	農業活性化センター	1回	31人	27人	4人
3月15日	立花	立花市民センター	1回	55人	54人	1人
3月28日	上妻	八女市総合体育館	1回	25人	23人	2人
3月29日	三河	三河小学校	0.5回	10人	9人	1人
3月29日	長峰	マンガ倉庫	0.5回	25人	24人	1人
合計	23会場		21回	1,085人	989人	96人

(イ) 職域献血

月日	場所	今年度実績			不採血者数
		回数	受付数	献血者数	
4月10日	ゆめタウン八女(ライオズクラブ主催)	1回	139人	122人	17人
5月10日	フジキ工芸	0.5回	23人	21人	2人
7月13日	八女建設会館	1回	68人	63人	5人
9月5日	J Aふくおか八女 本店	0.5回	29人	25人	4人
9月26日	筑水会病院	0.5回	18人	15人	3人
10月9日	八女総合庁舎	0.5回	14人	13人	1人
10月9日	公立八女総合病院	0.5回	30人	27人	3人
11月2日	明治乳業	0.5回	23人	22人	1人
11月2日	蓮の実園	0.5回	32人	25人	7人
11月14日	フジキ工芸	0.5回	21人	19人	2人
11月14日	川崎病院	0.5回	35人	31人	4人
11月15日	ゆめタウン八女(ライオズクラブ主催)	1回	162人	151人	11人
3月8日	八女総合庁舎	0.5回	18人	18人	0人
3月8日	公立八女総合病院	0.5回	27人	26人	1人
3月12日	J Aふくおか八女 本店	0.5回	27人	26人	1人
3月13日	古賀金属工業	0.5回	20人	17人	3人

3月13日	明治乳業	0.5回	23人	21人	2人
合計	17会場	10回	709人	642人	67人

(ウ) 学域献血

月 日	場 所	今年度実績			不採血者数
		回数	受付数	献血者数	
11月7日	福島高等学校	1回	45人	40人	5人
12月13日	八女農業高等学校	1回	64人	59人	5人
12月19日	西日本短期大学附属高等学校	0.5回	55人	42人	13人
2月26日	八女学院中等教育学校	1回	44人	40人	4人
合計	4会場	3.5回	208人	181人	27人

(エ) 街頭献血

月 日	場 所	今年度実績			不採血者数
		回数	受付数	献血者数	
5月4日	ゆめタウン八女	1回	81人	74人	7人
9月24日	ゆめタウン八女	1回	94人	86人	8人
12月23日	ゆめタウン八女	1回	88人	81人	7人
合計	3会場	3回	263人	241人	22人

ウ 八女市献血推進協議会の運営事務

- (ア) 各行政区へ依頼（行政区長へ協力依頼・ポスター掲示依頼、隣組回覧チラシでの周知）。
- (イ) 各地区事業所を訪問し、協力依頼及びポスター掲示依頼。
- (ウ) 社協だより、社協ホームページ、八女市広報紙に掲載した。
- (エ) FM八女を活用し、献血実施の放送を行った。
- (オ) 献血当日に開催地区を広報車にて呼びかけを行った。今年度から本所エリアについては、当日に加え、1週間前にも献血開催地区を広報車にて呼びかけを行った。また、黒木地区についても、献血前日と当日の広報車による呼びかけを行った。

(4-1) 在宅福祉サービス部門受託事業

① 八女市高齢者生活福祉センター居住部門事業

高齢者生活福祉センターで、生活援助員を配置し居住部門の運営を行った。行事は、誕生会、敬老会、会食会、お彼岸参などを行った。

ア 矢部支所（平成31年3月31日現在）

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計	日中援助員	夜間援助員
20室	3名	16名	19名	2名	1名

イ 星野支所（平成31年3月31日現在）

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計	日中援助員	夜間援助員
9室	1名	5名	6名	1名	1名

② シルバーハウジングL S A派遣事業<矢部支所>

高齢者生活福祉センターに生活援助員を配置。平日午後に訪問し安否確認等を行う。各部屋に緊急通報システムがあり、緊急時の対応を生活援助員が行う。

(平成31年3月31日現在)

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計
10室	6名	5名	11名

③ 生きがいデイサービス事業の実施

高齢者の生きがいデイサービスを実施した。

支所名	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
上陽	46日	310名	562名	400名	162名
黒木	144日	1,511名	2,688名	2,534名	154名
立花	96日	961名	1,761名	1,797名	△36名
矢部	48日	141名	253名	184名	69名
星野	57日	817名	1,471名	1,210名	261名
合計	391日	3,740名	6,735名	6,125名	610名

④ 八女市介護予防通所型サービス事業（はつらつデイ）

実施地区	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
旧八女	24日	5名	63名	411名	△348名
上陽	8日	2名	15名	165名	△150名
黒木	0日	0名	0名	247名	△247名
立花	0日	0名	0名	196名	△196名
矢部	0日	0名	0名	168名	△168名
星野	24日	5名	95名	252名	△157名
合計	56日	12名	173名	1,439名	△1,266名

平成30年11月末で事業終了のため、4月から11月までの実績

⑤ 配食サービス事業

高齢者の配食サービスを実施した。

(上陽支所・立花支所・星野支所：月曜日～土曜日)

支所名	実施日数	配食実人員 (月平均)	延べ配食数	前年度延べ 配食数	比較増減
上陽	292日	13名	2,075食	2,000食	75食
立花	292日	21名	3,440食	3,841食	△401食
星野	156日	5名	266食	503食	△237食
合計	740日	39名	5,781食	6,344食	△563食

⑥ 放課後児童健全育成事業「上陽北浜学園区学童保育所」＜上陽支所＞

上陽北浜学園区学童保育所を運営した。

実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
288日	370名	6,161名	6,023名	138名

⑦ 高齢者生活支援ヘルパー派遣事業＜立花支所＞

生活支援のホームヘルパーを派遣した。

派遣回数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
319回	93名	319名	413名	△94名

⑧ 外出支援サービス事業＜星野支所＞

高齢者等の外出支援サービスを実施した。

実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
36日	28名	36名	115名	△79名

(4-2) 在宅福祉サービス部門介護保険事業

① 訪問介護事業＜立花支所＞

介護保険事業の訪問介護サービスを実施した。

区分	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用数		比較増減
介護サービス	682名	6,862名	6,876名		△14
第1号通所事業	812名	4,609名	予防	1,950名	/
			総合	2,762名	
合計	1,494名	11,471名	11,588名		△117名

② 通所介護事業

介護保険事業の通所介護サービスを実施した。

ア 上陽支所（地域密着型）※10月4日第1回、2月27日第2回 運営推進会議開催

区分	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数		比較増減
介護サービス	173名	1,727名	1,747名		△20名
第1号通所事業	129名	793名	予防	244名	/
			総合	429名	
合計	302名	2,520名	2,420名		100名

イ 立花支所

区 分	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数		比較増減
介護サービス	347名	3,367名	3,351名		16名
第1号通所事業	167名	889名	予防	330名	
			総合	436名	
合 計	514名	4,256名	4,117名		139名

ウ 矢部支所（地域密着型）※9月13日第1回、3月14日第2回 運営推進会議開催

区 分	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数		比較増減
介護サービス	285名	2,325名	2,283名		42名
第1号通所事業	147名	736名	予防	390名	
			総合	346名	
合 計	432名	3,061名	3,019名		42名

エ 星野支所

区 分	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数		比較増減
介護サービス	307名	3,080名	3,330名		△250名
第1号通所事業	250名	1,193名	予防	449名	
			総合	745名	
合 計	557名	4,273名	4,524名		△251名

③ 居宅介護支援事業「ケアプランサービス」

介護保険事業のケアプランサービスを実施した。

支所名	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減	当年度加算取得件数（延べ利用者の内数）				
				初回	入院連携Ⅰ	入院連携Ⅱ	退院退所	その他加算
黒木	黒木 546名	1,037名	△331名	24	28	3	22	0
	上陽 4名							
	矢部 156名							
	計 706名							
立花	立花 752名	803名	83名	38	21	8	7	0
	旧八女134名							
	計 886名							
星野	星野 427名	447名	147名	30	6	2	0	0
	上陽 167名							
	計 594名							
合 計	2,186名	2,287名	△101名	92	55	13	29	0

(4-3) 在宅福祉サービス部門しょうがい者介護事業

① 障害者居宅介護事業<立花支所>

障害者総合支援事業の居宅介護サービスを実施した。

実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用数	比較増減
342回	151名	1,128名	886名	242名

(5) 福祉施設サービス部門

① 特別養護老人ホームゆいのもり<矢部支所>

介護保険事業の特別養護老人ホーム「ゆいのもり」(定員30名)を運営した。

ア 延べ入所者数

延べ入所者数	延べ入所日数	前年度延べ入所日数	比較増減
356名	10,276日	10,503日	△227日

イ 入所者の介護度(平成31年3月31日現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0名	1名	9名	14名	6名	30名

ウ 八女市高齢者生活管理指導短期宿泊事業 実利用者 2名 延利用日数 18日

エ 9月19日 老人福祉施設指導監査及び指定介護老人福祉施設等実地指導

② 短期入所生活介護<矢部支所>

特別養護老人ホームゆいのもりで介護保険事業の短期入所生活介護サービスを実施した。

区分	実利用者数	延べ利用日数	前年度延べ利用日数	比較増減
介護サービス	89名	1,068日	963日	105日
予防サービス	19名	110日	60日	50日
合計	108名	1,178日	1,023日	155日

③ 授産所麻生園<星野支所>

社会事業授産施設「授産所麻生園」(定員50名の通園施設)を運営した。

ア 利用者数(平成31年3月31日現在)

被保護利用者	B型利用者	合計
37名	5名	42名

イ 行事・会議

主な行事等	主な会議等
年度初め食事会・バスハイク・避難訓練2回(地震想定避難訓練)(火災避難訓練)・年末慰労会・鏡開き・豆まき	苦情相談従事者研修会 リーベルネットワーク研修会

ウ 授産科目

授産科目	内容
印刷事業	オフセット印刷(印刷、製本)
加工事業	提灯房作り、紙箱組立、線香巻き、破魔矢組立、お守り組立、提灯部品作り、ろうそく詰め、他
葬祭事業	霊柩車運行、葬祭用具・会葬品販売
受託事業	体育センター周辺清掃作業 他
その他の事業	幹旋商品(お茶・緊急避難セット)他

(6) 施設管理運営部門

① 八女市社会福祉会館の管理運営<本所>

八女市社会福祉会館の管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	2,505名	2,588名	△83名
無料利用者	9,722名	11,430名	△1,708名
計	12,227名	14,018名	△1,791名

② 八女市地域福祉センターの管理運営(指定管理)<上陽支所>

八女市地域福祉センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	90名	165名	△75名
無料利用者	5,443名	5,924名	△481名
計	5,533名	6,089名	△556名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	4,780名	5,143名	△363名
無料入浴者	12名	41名	△29名
計	4,792名	5,184名	△392名

③ 八女市黒木地域交流センターの管理運営(指定管理)<黒木支所>

八女市黒木地域交流センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	7,025名	5,939名	1,086名
無料利用者	14,858名	18,785名	△3,927名
計	21,883名	24,724名	△2,841名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	41,167名	43,982名	△2,815名
無料入浴者	10名	70名	△60名
計	41,177名	44,052名	△2,875名

ウ トレーニングルーム利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	3,145名	2,649名	496名
無料利用者	2,688名	2,534名	154名
計	5,833名	5,183名	650名

エ 直売所事業(収益事業)

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
8,341,063円	7,196,453円	1,144,610円

④ 八女市立花総合保健福祉センターの管理運営(指定管理)<立花支所>

八女市立花総合保健福祉センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	8,566名	8,401名	165名
無料利用者	7,408名	7,635名	△227名
計	15,974名	16,036名	△62名

イ 入館・入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入館・入浴者	23,951名	26,738名	△2,787名
無料入館・入浴者	15,517名	15,291名	226名
計	39,468名	42,029名	△2,561名

ウ 売店事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
3,497,666円	4,032,676円	△535,010円

エ 食堂事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
13,281,763円	15,303,079円	△2,021,316円

- ⑤ 八女市高齢者生活福祉センターの管理運営（指定管理）＜矢部支所＞
 八女市矢部高齢者生活福祉センター及び健康増進施設の管理運営を行った。
 又、健康増進施設では、買物支援の店を開店した。（毎週火・木）

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	0名	168名	△168名
無料利用者	305名	127名	178名
計	305名	295名	10名

- ⑥ 八女市星野総合保健福祉センターの管理運営（指定管理）＜星野支所＞
 八女市星野総合保健福祉センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	14,081名	13,113名	968名
無料利用者	6,879名	5,872名	1,007名
計	20,960名	18,985名	1,975名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	20,073名	20,387名	△314名
無料入浴者	2,672名	2,613名	59名
計	22,745名	23,000名	△255名

ウ トレーニングルーム利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	610名	846名	△236名
無料利用者	6,268名	5,512名	756名
計	6,878名	6,358名	520名

エ 売店事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
7,084,954円	6,525,155円	559,799円

(7) 葬祭事業部門 (収益事業)

① 葬祭品の販売

葬祭品の販売を行った。

ア 矢部支所

売上件数	延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
22件	2,015,670円	2,763,420円	△747,750円

イ 星野支所

売上件数	延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
26件	3,812,900円	4,035,494円	△222,594円

② 霊柩車運行事業

霊柩車の運行事業を行った。

ア 黒木支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
107件	1,070,000円	1,450,000円	△380,000円

イ 矢部支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
25件	279,180円	282,960円	△3,780円

ウ 星野支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
22件	485,000円	436,200円	48,800円

(8) 環境衛生事業部門

① 自給肥料供給施設の管理運営 (指定管理) <星野支所>

自給肥料供給施設の管理運営を行った。

ア し尿等投入量

し尿	浄化槽汚泥	延べ投入量	前年度延べ投入量	比較増減
1,016KL	1,332KL	2,348KL	2,444KL	△96KL

イ 液肥散布量

田畑	山林その他	延べ散布量	前年度延べ散布量	比較増減
11KL	2,142KL	2,153KL	2,361KL	△208KL